

アル爲種々ニ利用シテ面白ク種  
ミ方排へ方何レニモ使用セリ

檜の實 大 小 二種(積ミ方排へ方材料トス)

茶 の 實(同上)

梧 桐 の 實(聚キ方ニ使用シ又ハ豆ノ代用ニ供ス)

同 莢 (ホート又ハ籠ヲ作ル)

石 黒白石伊豫産 五色石紀州産 (積ミ方排へ方ノ材料トス)

貝殻 大中小 其他數種(積ミ方排へ方ノ材料トス) 其他マ、事遊ビノ皿トナス)

ユウ カリ ノ ミ(積ミ方及ヒ排へ方材料トス)

栴 檀 の 實(積ミ方排へ方ノ材料)

藤 の 實(同上)

豆 種 々(同上又自由遊ビノ際ニおほじきニ用ユ)

蠶 豆 莢(ホート又ハ籠ヲ作ル)

夏 藤 の 莢(コレハ其形狀刀ニヨク似タルチ以テ端午ノ節旬ノ際ニハ必ス使用ス)

砂 書 普通ノ砂 (ウス糊ヲ筆ニツク臺紙ノ上ニ自由ニ描カシメ其上ニ砂ヲフ)

リカケ后コレヲ吹クハ糊ノ部分ノミ残リテ他ハ悉ク飛散ス面白キ遊ナリ

松の實 「俗に松かさ」と云ふ (コレバ種々ナルモノヲ挿入レテ遊ブ幼兒ノ挿入ノ仕方ニテ)

カナリ面白キ遊ナリ)

自然物貼 付(種々ナル木葉又ハ秋期紅葉ノ際採リ來リテ糊ニテ財付ス普通ノ貼り紙ト同一ナリ)

押 葉 押 草(同上)

松杉檜其他の小枝は廢物の圓形木片に挿入れて積み方の際周圍の裝飾に使用する

糊土細工の燒物(最幼ノ組ノ排へ方ニ用ユ庭園ノ草葉ヲ押テ圓形ニ糊土細工ヲ作リコレヲ燒物ニシタルモノ)

### 室の内

神戸幼稚園保母 佐藤 満 壽

從來幼稚園で使用されて居ます玩具は、重にフレールの恩物で御座いまして、普通家庭で用ゐられて居る様な玩具は餘り御座いません、フレールの恩物の組織的練習のもの、御座いまして、一二を除くほかは出來上つたものとしては御座いません、大抵此等の恩物を基本として種々の玩具が造られたので御座いますから、いはば凡ての

玩具の基礎で御座います、恩物は練習的玩具として至極結構で御座いますが、然し模倣性の盛な幼稚園時期に於ましては、観察も必要で御座いますし、模倣も必要で御座いますから、只恩物のみではまだ充分でない様に存じます。幼稚園では是非恩物のほかに出来上つた所の観察的玩具なり、模倣遊嬉に用ゐる模倣的玩具を備へておく必要が有ると存じます、然し之を完全に致さうと思へば随分經費を要する事では御座いますし、又場所の關係も御座いますから、何れの幼稚園でも使用するといふ、わけにも參らないかも知れません、が之も方法によりますれば、左程困難な事ではなからうかと存じます。私の勤めて居ます神戸幼稚園では、此種な考から一週に二回つづ、玩具遊の時間を設けて居ます。それは誠に不完全では御座いますが、二階の陳列室二間をこれにあてまして、そこにも觀察的玩具なり、模倣的玩具なり、練習

的玩具なり、普通家で用ゐられて居る様な玩具を備へて置まして、其時間には其室に備へる玩具はどれでも幼児の自由に弄される様にして御座います。これを監督して見て居ますと、實驗するものもあれば、觀察するものもあり、樂隊も始まれば、芝居も始まるといふ風で、幼児等の喜は非常なもので御座います、幼児等はいつも此時間の來のを待ちかねて居るといふ有様で御座います、これは幼児の喜びますばかりでなく、此遊によりまして、いろいろの利益が有る様に思ひます、即ち觀察する事によりまして、其物を知る事が出来るのみならず、物と物との關係、比較する事も出来ますし、實驗する事によりまして、經驗的智識を得る事も出来ますし、模倣する事によりまして、社會生活の狀態を知る事が出来ますし、注意を要する遊によりまして、注意力を養ふ事も出来ますし、いろいろ利益が多い様に存じます。此玩具遊

の方法としては全く幼児の随意に任せておく事も御座いますし、又時には適宜に指導して、統一的に遊ばせる事も御座います、先づ自由に遊んで居ますうちに、尤も幼児の好みます事は、樂隊遊、まりつき、繪本を見る事、獨樂まはし等で御座います。尤も此等の材料は折々とりかへてやる事に致して居ますから、其材料なり又年齢によりまして遊方も違つて居ますが、大體先に申上りました、様な玩具は、年中いづれの幼児にも歡迎される様で御座います。此遊によりまして、著しき進歩を見ます事は、畫方で御座います。此玩具遊がすんだ後保育室に歸り、畫方をさせます、場合には非常に、思想の變化を見る事が御座います、次に統一的の遊として幼児の喜びますものは、先年排方材料として當園で造りました所の、六色に分けた圓形の札と、種々の花形をあらはした札とが御座いますが、これらの色札なり花形札を、廣き机の上

にまいておきまして、其札のまはりに幼児等がならんで居ます、そしい赤ならば赤、青ならば青と申ますと、丁度カルタ取りの様に、各兒が其色なり、形なりを間違へない様に拾ひとり、最後に多く拾ひしものが勝ちとなるので御座います。此遊は餘程注意を要しまして、興味ある遊で御座います。又此遊によりまして、色なり形なりを確實に知覺させる事が出來ます。今一つは幼兒自ら造り出した遊で御座いまして、餘り上品な遊といふ事は出來ませんが、幼兒等が非常に興味を以て遊ぶ事で御座いますから、一寸申上ておき度と存じます。それはせんべやごとく、申まして前に申上りました色札なり花形札なりをせんべいと致しまして、賣買致すので御座いますが、まづ最初に幼兒等は賣手と、買手の二組に別れまして、賣手の一部はおせんべいを机の上にならべて、店の用意を致して居ます間に、他の一部は樂隊道具をもつて、廊

下中を廣告して歩くので御座います。すると買手が店に行て、赤せんべいを下さいとか、櫻せんべいを下さいとか、もみぢせんべいを下さいとか云つて買ひます。賣手は其色なり形なりを、間違はない様に、渡さねばなりません。初めのうちは、色なり形なりがわからないで、一々判定をしてやらなければなりません、四度五度とするうちに、色なり形なりがよくわかる様になりまして、保育室内で恩物材料を用ゐて、色や形を教へますよりは、此等の遊による方が風白くて、いつの間にか自然に覚ええます。此外、今回京阪神三市聯合保育會に提出致しました、遊嬉頭字遊に付て一言致しますが、一組の幼兒を連れて、花園の中に遊び、澤山咲いで居ます花の中で、或一の花を思ひ「頭にアの字（葵ならば）付いた花其名は何でありますか」と歌ひますと、幼兒等は直に異口同音に葵と答へ、それが云ひ當りました時は大喜を致しま

す。後に又各兒も名々知て居る花の名を、此様に歌ひましては、互に名をあて、笑ひ興じます。又は家庭に歸ります時に、一輪つゝの花を各兒に與へまして、母に其名を當て、戴く様に話しておきます時は、非常に興味を生じます凡て花に限らず、萬物皆此様に致します時は、保母も亦幼兒等と樂しみを共にする事が出来まして、知らずく時を過す事が御座います、要するに保育は室の内、室の外に拘らず、幼兒に充分の自由を與へながら之を指導し、指導しながら自由を與へる事は、多數の幼兒を扱ふ上に於て非常なる考を要する事と、苦心致して居ますから、既に御研究になつていらつしやる御方なり、又他によい御考の御座います方々には、御きかせを願度と存じます。